3. 【①ケースを取付ける】
車体に取付けた③ベースB部に①ケースを引っ掛けます。
3-1 ①ケースを上から押さえます。この際③ベースC部と①ケースのロック部分の位置が合っている事を確認します。
さらに上ブタを開けた状態で①ケースを③ベースに合わせ、左手で③ベースを持上げぎみにしながら、右手で①ケースの底部を上から押さえロックします。(図1)
特に小型車などについては、リヤサスペンションが軟らかく、上から押さえただけでは確実にロックがしにくい場合がありますので、必ずこの方法で取付けてください。

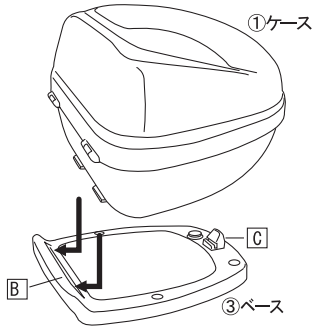
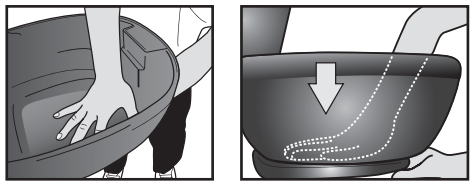
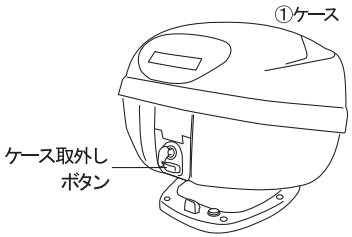


図1



3-2 ①ケースが③ベースから外れない事を確認します。
⚠ ①ケースのロック部分が、確実に③ベースにロックされているか、確認してください。確実にロックされていませんと、走行中に①ケースが落下し、大変危険です。
⚠ ※走行中のケースの脱落や荷物の落下事故は道路交通法によって運転者が罰せられます。

4. 【①ケースの取外し】
4-1 ①ケースのカギ穴に②キーを差込みます。
4-2 ②キーを右(時計方法)に回します。
ケース取外しボタンのロックが解除されます。
4-3 ケース取外しボタンを押しながら、①ケースを持上げます。



〈補修用キーについて〉
GIVIハードケースは、キーシリンダーにナンバーが打刻されている為、防犯上の理由からキーのみの供給はしておりませんので、万一紛失してしまった場合は、カギ専門店等で解錠した上で、下記のキー&シリンダーセットで交換して頂くようお願致します。
キー&シリンダーセット‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(36394)￥1,260(税込み)

〈補修部品〉

ベースセット(接点なし)	(31335)	￥2,730
接点キャップ(ベース側)	(40448)	￥630
キー&シリンダーセット	(36394)	￥1,260
スクエアワッシャ(1枚)	(34640)	￥126
波型プレート(1枚)	(34639)	￥126
ラバーストッパー(4個)フラットヘッド	(28937)	￥315
バックレスト	(44043)	￥4,725

製造国:イタリア

輸入・販売元 JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 http://www.daytona.co.jp
静岡県周智郡森町一宮4805

お客様相談窓口 0120-60-4955

取扱説明書

E300NBR103D

GIVI 汎用モノロックケース	適応車種
	キャリア付き車輌

この度はデイトナ「GIVIモノロックケース」をお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取付け前に必ず商品内容をお確かめください。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買求めの販売店にご相談ください。
■取付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
■この取扱説明書は、いつでも取出して読めるよう大切に保管してください。
■この商品もしくはこの商品を取付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も合わせてお渡しください。

〈商品内容〉

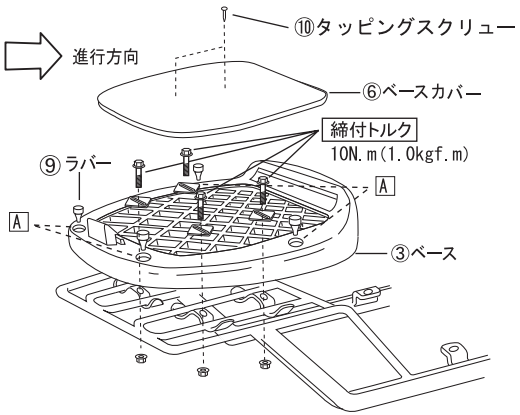
	パーツ名	サイズ(mm)	個数		パーツ名	サイズ(mm)	個数
1	ケース		1	7	ナット	M6	4
2	キー		2	8	波型プレート		4
3	ベース		1	9	ラバーストッパ		4
4	スクエアワッシャ		4	10	タッピングスクリュー		2
5	ボルト	M6×30	4				
6	ベースカバー		1				

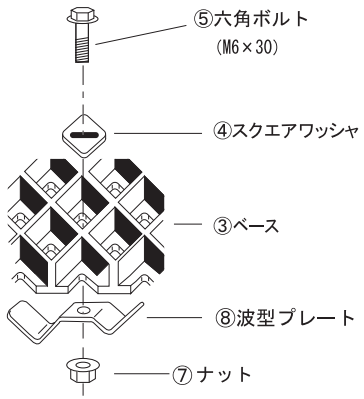
〈注意事項〉
この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。予めご了承ください。
〈特徴〉
■樹脂製ハードケース、防水機能付き。プッシュボタンによりケースの取付け、取外しが簡単に出来ます。
■車体から取外し携帯出来ます。■脱落や盗難を抑止するキーロック付き。
〈安全上のご注意〉
⚠警告 ■走行中のケース脱落防止、キャリアーの破損防止、ライダーの落車防止の為に下記の使用方法を守ってお使いください。
ケースが外れる可能性があり大変危険です。
●この商品は予めケースにバックレストが装着されておりますが、バックレストは補助的なものです。
常に体重をかけた状態で使用しないでください。
ケースが外れたりキャリアーが破損した場合は落車の可能性があり大変危険です。
※ケースやフィッティングはライダーの体重を支えるようには設計されておりません。
●バックレストの有り無しに関係なく、ケースやキャリアー、専用フィッティングに寄りかかったり過度の力をかけないようにしてください。
ケース本体や取付部分、キャリアー、専用フィッティングが破損しケースが外れる可能性があり大変危険です。
⚠警告 許容重量又は許容容積を超えた荷物の詰込みは出来ません。許容範囲を超えた場合、商品の破損や、重大な事故につながり死亡または重度の障害にいたる事故の原因となります。
⚠警告 オフロード走行をしないこと。
⚠警告 この商品を取付けると車両のハンドリングが、悪化します。またブレーキの効き具合が低下します。
⚠注意 GIVIハードケースは防水性を考慮した設計になっておりますが車輌への取付状態や走行条件、気象条件によってはケース内に水が浸入することがあります。特に雨天時に使用する場合は、予め内容物に防水対策を施してください。万一、重要な物に浸水等の被害があっても、当社では補償致しかねます。
⚠注意 内容物の最大積載重量はいずれも3.0kgです。但し、車体側取付部(バイクキャリア等)の最大積載重量から商品の重量(裏面参照)を差引いた値の範囲内でご使用ください。
⚠注意 使用状況は、または使用環境により①ケース内部が高温になる場合があります。
⚠注意 取付け作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。

⚠**注意** 取付けは確実に行ってください。又、走行中にネジ部等が緩む事のないよう、規定トルクで確実に締付けてください。ネジロック剤の併用をお勧めします。
⚠**注意** 取付後、約100km走行しましたら各部を点検し、ネジ部等の増し締めを行ってください。その後、約500kmごとに必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
⚠**注意** 走行中異常が発生したと思われる場合、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所を点検してください。
⚠**注意** 走行前には必ず各部を点検のこと。特にケース本体を引っ張って外れないことを確認のうえ走行のこと。
⚠**注意** GIVIハードケースに入れた荷物の破損等があっても、当社では補償致しかねます。

〈取付け手順〉
■ベース取付け方法

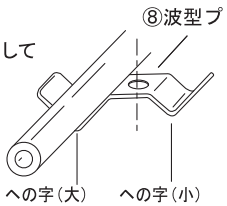
1 ③ベースの、A部(4か所)に⑨ラバーを取付けます。(製造ロットにより既に組込まれている場合があります)
⚠ ③ベースに①ケースが取付け出来なくなったり、①ケースがガタついたりする場合がありますので⑨ラバーを③ベースにしっかりと組付けてください。
⑨ラバーは③ベースの下側よりラジオペンチ等で⑨ラバーを引っ張り、取付けてください。その際、⑨ラバーを引きちぎらないように注意してください。
2 ⑥ベースカバーを⊖マイナスドライバー等を利用し取外します。この際⑥ベースカバーの爪を折らない様に注意してください。
3 車両のキャリアの上に、④スクエアワッシャ、⑨波型プレート、⑤ボルト、
⑦ナット、を使用して③ベースを取付けます。締付トルク10N・m(1.0kgf-m)
③ベースには大きな力が掛かります。③ベースのがたつきがないように確実に取付けてください。
⚠ 車体側のキャリアの形状によっては、③ベースが変形する場合があります。そのまま取付けると、①ケースが取付かない場合があります。市販のワッシャやスペーサーを利用し、ベースが変形しない様に組付けてください。
4 ③ベースに⑥ベースカバーを取付けます。
⑥ベースカバーがはまりにくい場合は、タオル等をかぶせ、プラスチックハンマー等で軽く叩きながら
⚠ はめ込みます。⑩タッピングスクリュー(2本)でカバーを止めます。
その際、カバーの爪を折らない様に注意してください。
5 ①ケースが、③ベースに確実に取付け出来る事を確認して、作業は完了です。



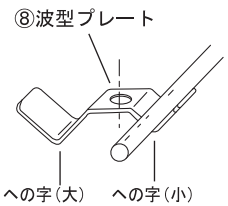


⑧波型プレートの使用方法

太いパイプの場合
への字(大)側を使用して
取付ける。

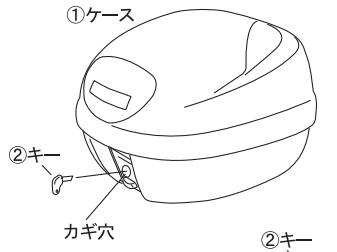


細いパイプの場合
への字(小)側を使用して
取付ける。

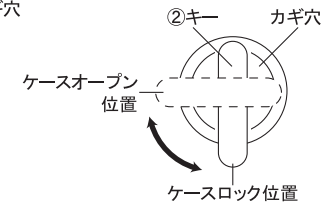


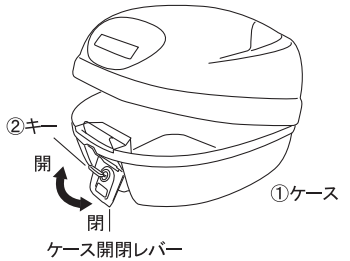
〈使用方法〉

1. 【①ケースを開く】
1-1 ①ケースのカギ穴に②キーを差込みます。
1-2 ②キーを右(時計方向)に回し、ケースオープン位置に合わせます。ケース開閉レバーのロックが解除されます。
1-3 ②キーを手前に引き、ケース開閉レバーを持上げます。
①ケースのフタを持上げます。



2. 【①ケースを閉じる】
2-1 ①ケースのフタを閉めます。
2-2 ケース開閉レバーを下げます。この際にケース開閉レバーのツメが①ケースのフタに確実に掛かっている事を確認します。
⚠ ケース開閉レバーを無理に閉めないでください。ケース開閉レバー等の破損により、①ケースのフタが閉められなくなる場合があります。
2-3 ②キーを左(反時計方向)に回し、ケースロック位置に合わせます。ケース開閉レバーがロックされます。
2-4 ②キーを抜きます。





※施錠しても盗難を完全に防ぐことはできません。
車両を離れるときは貴重品を入れない、ケースを外して持ち歩く、などの自己防衛が必要です。
※濡れた荷物を入れるとカビや異臭などの原因になります。
※走行前には必ずケース本体を引っ張ってロックを確認してください。
走行中のケースの脱落や荷物の落下は道路交通法によって運転者が罰せられます。